保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

電話で 24時間 365日 お応えします

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日：8:00〜20:00受付）

※電話受付：365日・24時間受け付けます。　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**
  詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品は製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- クリーナーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

15ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）　ー

愛情点検

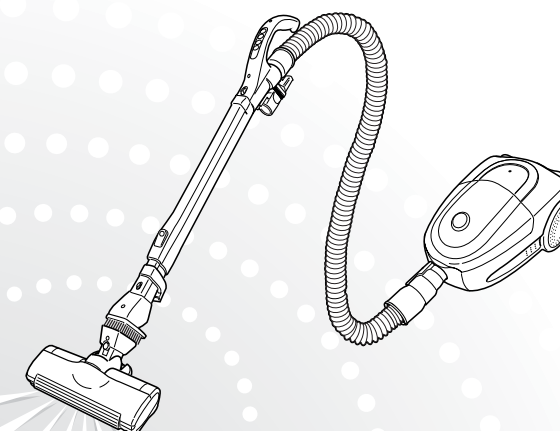
●長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。	●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。 ●電源コードを動かすと運転が止まるときがある。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA

東芝クリーナー（家庭用）取扱説明書

形名
VC-S24C

- このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

● 商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告　「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷[*1]を負うことが想定されること」を示します。

⚠注意　「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁 止
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指 示
●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注 意
△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁 止

電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

100V・15A以上

電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

禁 止

灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因になります。

水場での使用禁止

水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電の原因になります。

禁 止

電源コードは黄マーク以上引き出さない
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

接触禁止

床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

禁 止

電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
電源コードの損傷により、火災・感電の原因になります。

水洗い禁止

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーを除く）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・発熱による火災の原因になります。

ほこりをとる

電源プラグとコンセントのほこりなどは定期的にとる
感電・発熱による火災の原因になります。

⚠注意

プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電・ショート・過熱により発火の原因になります。

禁 止

吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

プラグを持つ

電源コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがの原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁 止

排気口をふさがない
火災の原因になります。

火気禁止

火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

まっすぐに引く

電源コードは、まっすぐ引き出す
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電・発火の原因になります。

禁 止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発・火災の原因になります。

禁 止

ホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンなどを入れない
感電・破壊の原因になります。

お願い

このクリーナーは家庭用です

- 業務用には使用しない。
- 掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない

■**水などの液体や湿ったゴミ。**
■ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目詰まりするもの。
■食品用ラップなどの通気性の悪いもの。
● **異臭の発生や本体故障、ダストカップの傷つきの原因になります。**

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しない

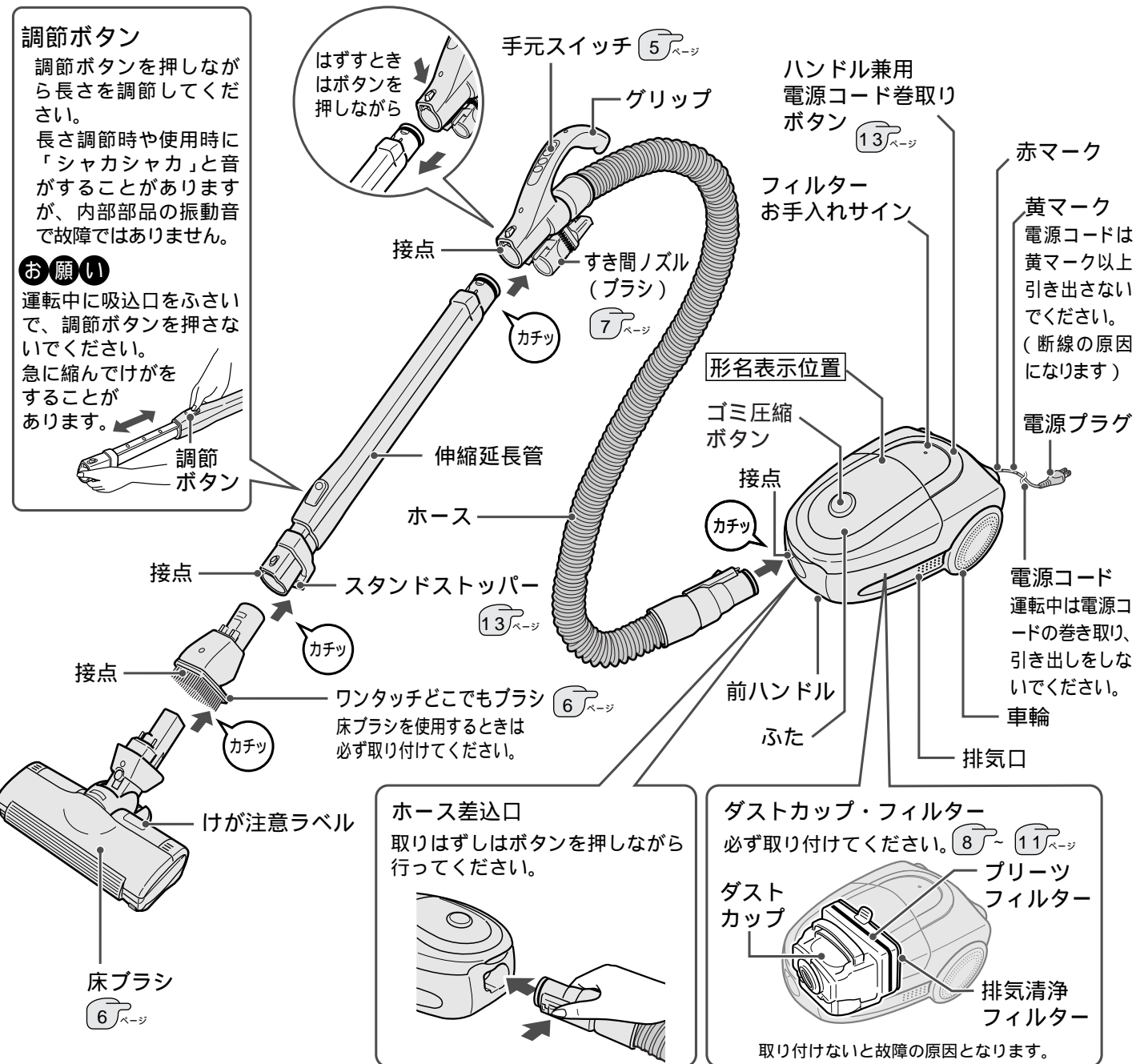
- 床が傷ついたり、故障の原因になります。

掃除するときは電源コードを十分に引き出す

- 電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシを床に強く押しつけたり、本体を急激に引っ張ったり、壁、家具などに強くあてない

- 床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、**力を入れずに片手で軽くすべらせてください。**伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。
- 床用ワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面にこすり傷がつくことがあります。
- やわらかく傷つきやすい木床材や、ワックス上のこすり傷が気になる場合は、別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。
- 砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布に付着している砂ゴミは取りのぞいてください。
- 床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがあります。お手入れの都度、点検してください。

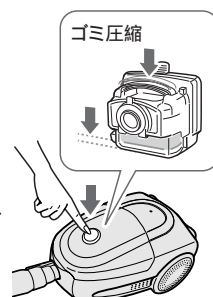
各部のなまえとはたらき

ゴミ圧縮ボタンの使いかた

お掃除の前にゴミ圧縮ボタンを押すと、ネットフィルター（リアー）に付着したゴミをかき落とし、ダストカップの中のゴミが圧縮され、目づまりが改善されます。

- **フィルターお手入れサインの赤が点灯したら、運転を止め、ゴミ圧縮ボタンを数回押してください。**
- **ゴミ圧縮ボタンを数回押しても吸込力が弱い場合は、ダストカップ、ネットフィルター（フロント）のゴミを捨て、プリーツフィルターのちり落としを行ってください。**

ゴミ圧縮

お願い

- **本体運転中はゴミ圧縮ボタンは押さないでください。圧縮板にゴミがつまる原因になります。**
- 延長コードを使用したり、他の家電製品と同一のコンセントでお使いになると、電源電圧の低下により、フィルターお手入れサインが早く点灯または点滅する場合があります。定格15A以上の単独コンセントでご使用ください。

フィルターお手入れサイン

フィルターのお手入れ時期を「フィルターお手入れサイン」が点灯、点滅でお知らせします。

点灯なし	目づまりしていません。
赤点灯	目づまりしてきました。
赤点滅	目づまりしています。お手入れしてください。

お掃除のしかた

1 **電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む**

2 **手元スイッチを押す**

を押す

床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき

- 床・たたみで静かにお掃除したいときは「切」にしてください。
- ゴミが取りにくい場合は「入」にしてください。

ブラシ入/切 を押すごとに「入↔切」が切り替わります。

自動

を押す

「自動」でお掃除するとき

- ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。

手動

を1回押す

「強」でお掃除するとき

- じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに

強/弱 を押すごとに「強↔弱」が切り替わります。

を2回押す

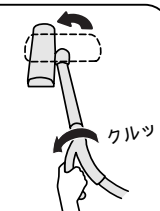
「弱」でお掃除するとき

- カーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に
- すき間ノズルを使ったお掃除に

を押す

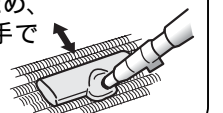
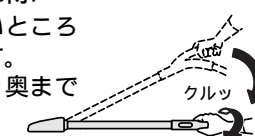
運転を止めるとき

※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。

お知らせ

- 大きなゴミなどを急激に吸いつかせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱めます。**

お願い

- 大きなゴミを吸いつかせたまま**約3分間使用すると**、モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります**。このようなときは、ゴミを取りのぞき手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。

お掃除のコツ

お願い

- 狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。
- 表面が固く、凹凸したコンクリート床などで使用しないでください。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると、床・たたみに傷をつけることがあります。
- 床ブラシの向きを変えたあと、通常の位置にもどすときは、床ブラシを前に押しながらもどしてください。

付属品について

標準付属品

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシ付（1個）
（自走ブラッシングヘッド）

ホース（1本）

伸縮延長管（1本）

応用付属品

すき間ノズル（ブラシ）（1個）

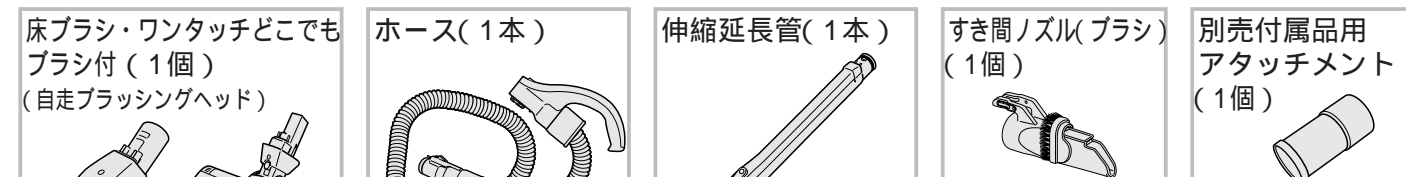
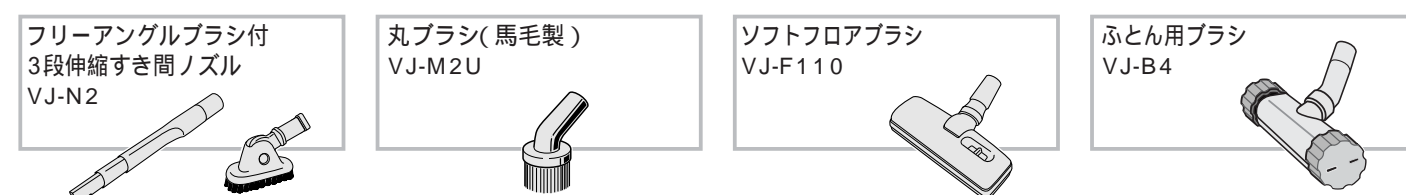
別売付属品用アタッチメント（1個）

別売品

フリーアングルブラシ付3段伸縮すき間ノズル VJ-N2

丸ブラシ（馬毛製） VJ-M2U

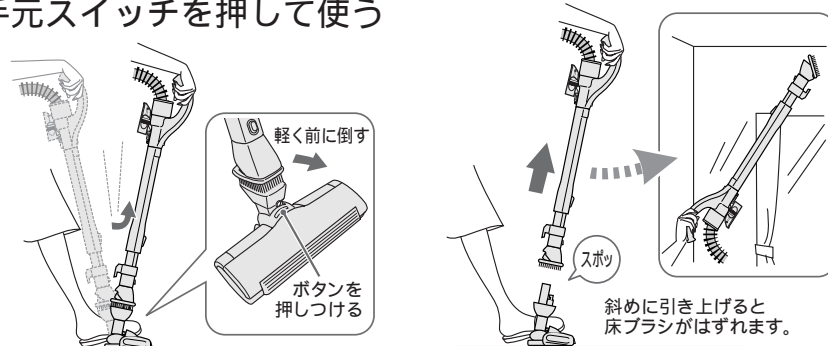
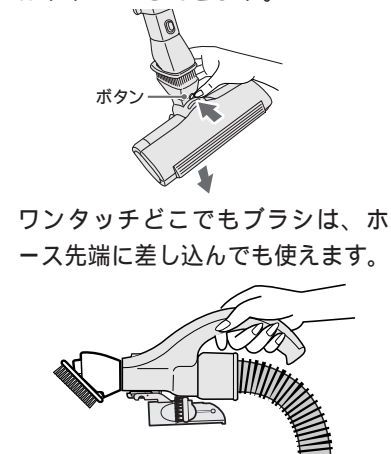
ソフトフロアブラシ VJ-F110

ふとん用ブラシ VJ-B4

- すき間ノズル（ブラシ）は7ページを参照して取り付けてください。
- 別売付属品用アタッチメントは、別売品をご使用の際に伸縮延長管またはホースに差し込んでお使いください。
- 別売品はお近くの東芝商品販売店でお買い求めできます。

ワンタッチどこでもブラシの使いかた

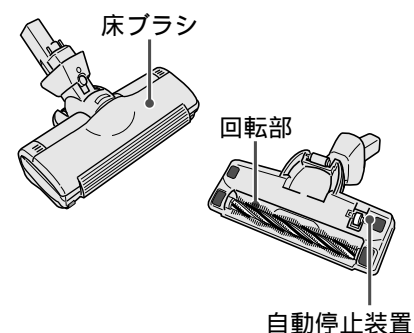
① 切 を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえる
②延長管を前に倒しながら、グリップを上に引き上げてはずす
③手元スイッチを押して使う

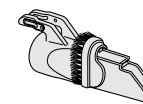
- 床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。

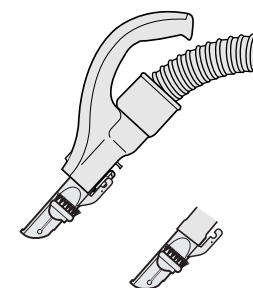
- ワンタッチどこでもブラシは、ホース先端に差し込んでも使えます。

- 運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
- 無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。
- ワンタッチどこでもブラシは水洗いできません。

床ブラシの回転部について

⚠警告 **床ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない**
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

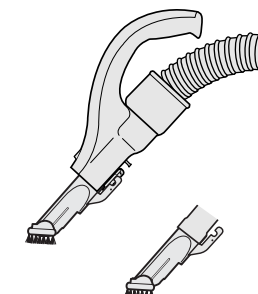
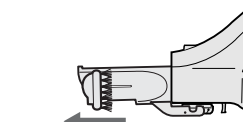
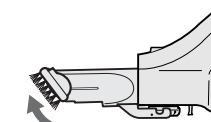
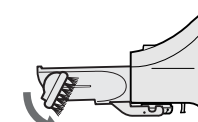
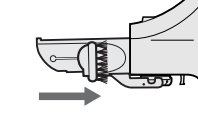
この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと安全のため回転部が止まります。

- 床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
- 床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
- ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。このようなときは、 切 を押し、運転を止め再び 強/弱 を押してお使いください。

すき間ノズル（ブラシ）の使いかた

通常は、 強/弱 を2回押し、「弱」で使う
※強い吸込力でお掃除するときは、 強/弱 を1回押し、「強」でお使いください。

すき間ノズルとして使う

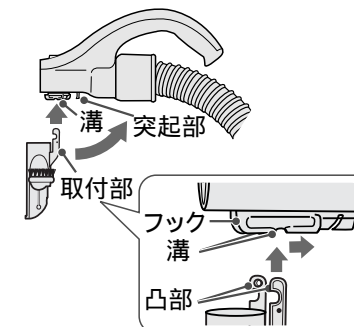
ブラシを収納して使います。

- 伸縮延長管の先にもセットして使用できます。

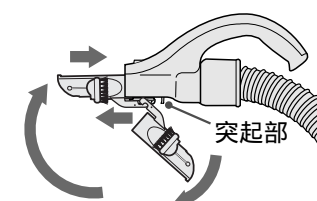
すき間ブラシとして使う

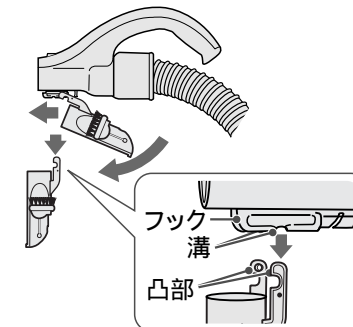
ブラシを吸口側にスライドして使います。

ブラシ取り付け方法
①ブラシを吸口にスライドさせる

②ブラシを回転させ、吸口に差し込む

ブラシ収納方法
①ブラシを回転させ、吸口から取りはずす

②ブラシをスライドさせ、収納する

- ブラシがはずれたときは、イラストのようにはめてください。

すき間ノズル（ブラシ）のセットと収納

取り付けるとき

①すき間ノズルの取付部の凸部をフックの溝に合わせてはめる
②すき間ノズルを後ろ側にスライドさせる
③すき間ノズルを90°回転させて突起部にはめ込む

ホースにセットするとき

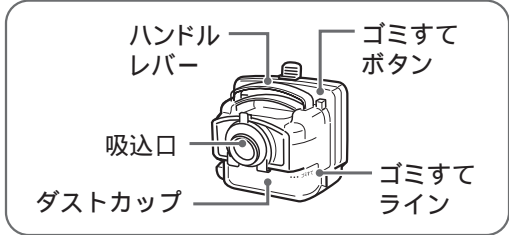
①すき間ノズルの先端を突起部からはずす
②すき間ノズルをフックに引っかけたまま、前側にスライドさせる
③すき間ノズルを180°回転させホースの先端にしっかり差し込む

取りはずすとき

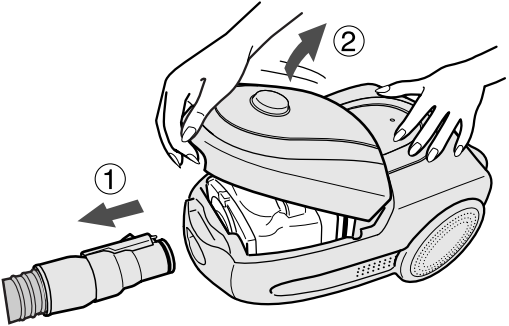
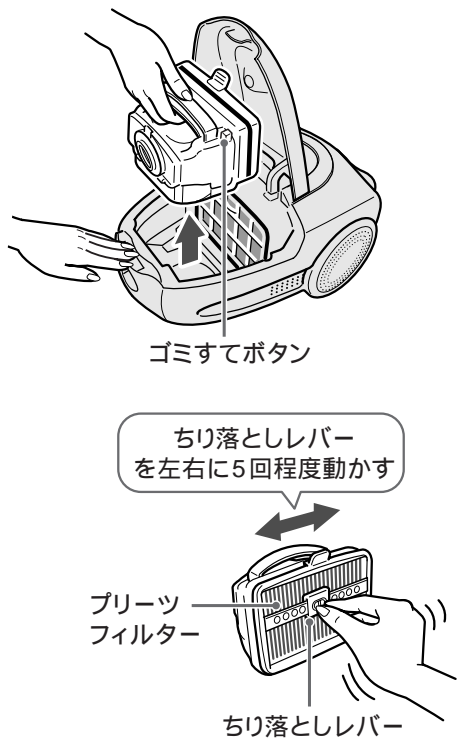
①すき間ノズルの先端を突起部からはずす
②すき間ノズルを動かし、フックの溝にすき間ノズルの取付部の凸部を合わせる
③すき間ノズルをはずす

- **すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の下側に収納できます。**
- 伸縮延長管の先にもセットして使用できます。
- すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることがあります。
- 「強」で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。

お願い

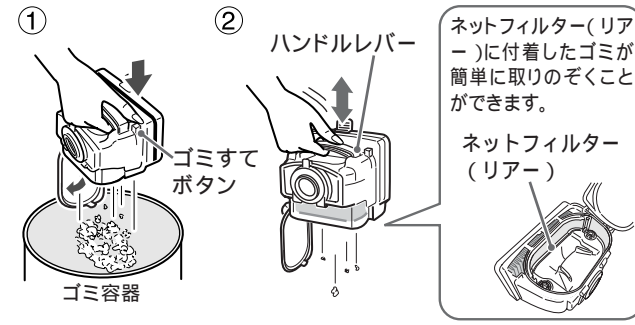
- **床などに使わないでください。傷をつけることがあります。**
- 20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担がかかります。
- **すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。**

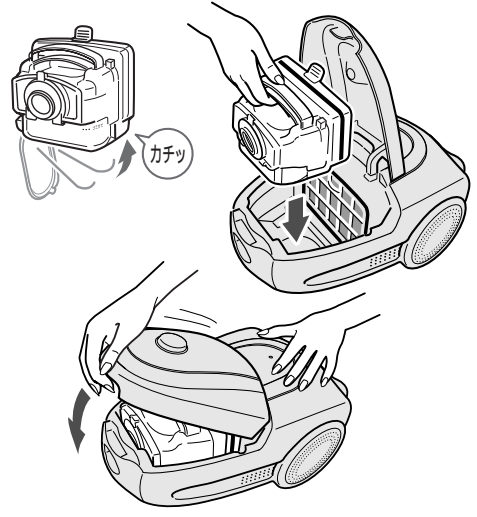
ゴミの捨てかた

お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう。
ゴミすてラインまでゴミがたまると吸込力が低下します。
※ゴミを捨てる前には 切 を押して運転を止め電源プラグを抜いてください。
※ゴミを捨てる前にゴミ圧縮ボタンを5回程度押してください。ダストカップ内のゴミが圧縮されゴミ捨て時にゴミが飛び散りにくくなります。

1 ふたを開ける

①ホースをはずす
②本体を押さえながらふたを開ける

2 ダストカップを取り出し、プリーツフィルターのちり落としをする

お願い
- 本体からダストカップをはずすとき、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。

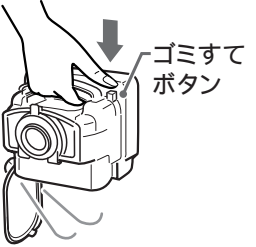
3 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れる

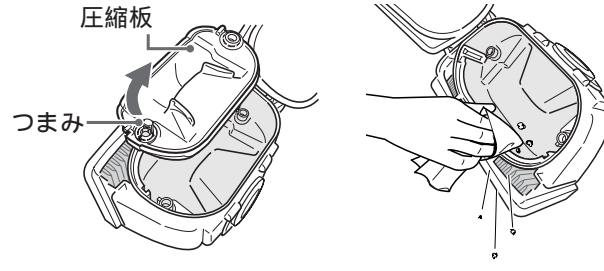
①ゴミすてボタンを押し、中のゴミを捨てる
②ハンドルレバーを数回押し、残ったゴミを落とす

お願い
- ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
- ゴミの量、種類によりゴミが取りのぞきにくい場合があります。この場合は水洗いをしてください。

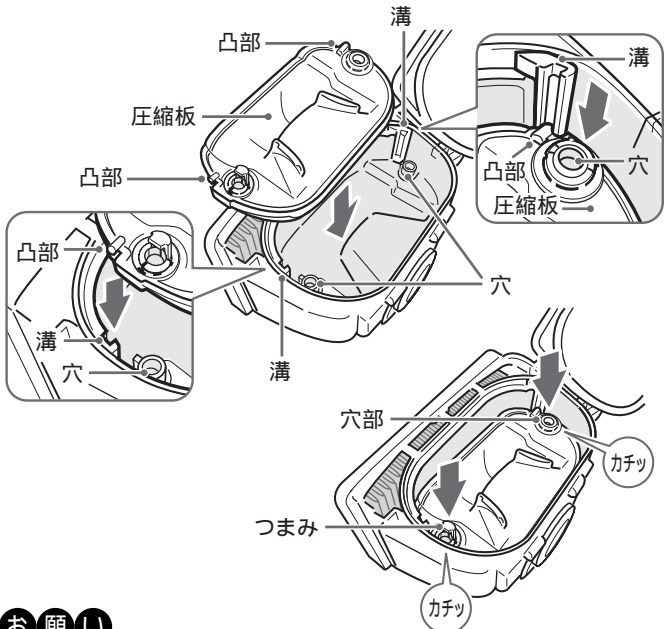
4 ダストカップの底面を手で戻し、カチッと音がするまではめ込み、本体にのせてふたを閉める

お願い
- ふたで指をはさまないよう注意してください。
- ゴミの種類により、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ダストカップのゴミを捨て、ネットフィルターのゴミを取りのぞき、プリーツフィルターのお手入れをしてください。

圧縮板（ダストカップ）のゴミの取りかた

ハンドルレバーを押してダストカップ内のゴミを落としても、圧縮板にゴミが残ってしまうことがあります。
※圧縮板にゴミがつまったときは圧縮板をはずし、ゴミを取りのぞいてください。

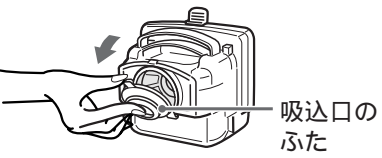
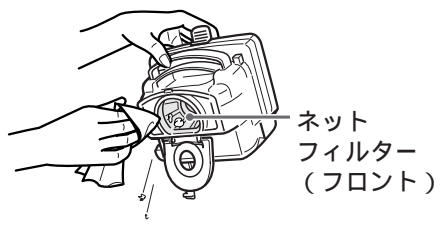
1 ゴミすてボタンを押して底面を開く

2 圧縮板をはずし、残ったゴミをティッシュペーパーなどで取りのぞく

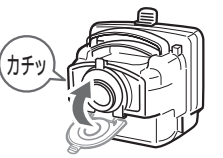
- 圧縮板のつまみを持ち、上に引き上げてはずしてください。

3 圧縮板をダストカップ内に取りつける

①圧縮板の凸部をダストカップの溝に合わせる
②ダストカップの溝にそって圧縮板を下におろす
③圧縮板のつまみ、穴部をそれぞれ上から押し、カチッと音がするまでしっかりはめ込む

お願い
- 圧縮板を強く押さないでください。破損の原因になります。

ネットフィルター（フロント）のゴミの取りかた

大きなゴミを吸ったときや、ゴミすてラインを超えてゴミを吸ったときなど、ネットフィルター（フロント）にゴミが押し出されて残ってしまうことがあります。
※週に1～2回は吸込口のふたを開け、中のゴミを取りのぞいてください。

1 吸込口のふたを開ける

2 ネットフィルター（フロント）についたゴミをティッシュペーパーなどで取りのぞく

お願い
- ネットを強く押さないでください。破損の原因となります。

3 吸込口のふたを閉める

お手入れ

ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき、プリーツフィルターのお手入れをしてください。
※お手入れの際には を押して運転を止め電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

⚠警告 本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバーを除く）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

ダストカップ・フィルター

ダストカップ・プリーツフィルター

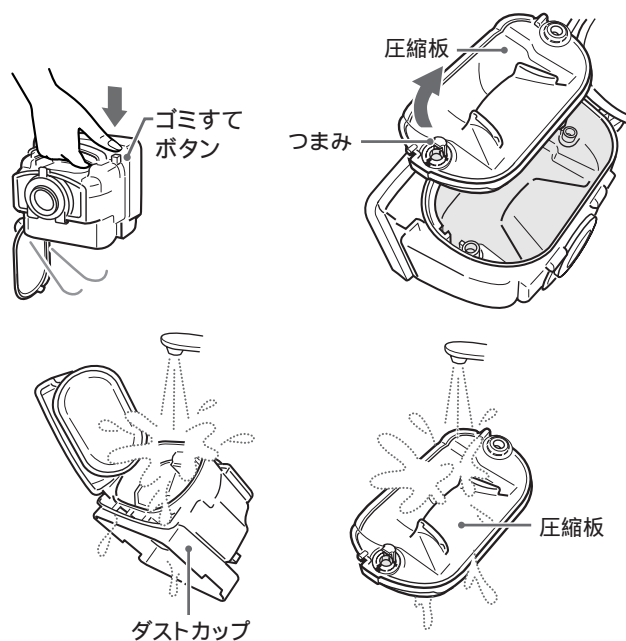
● 本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。 8 9ページ

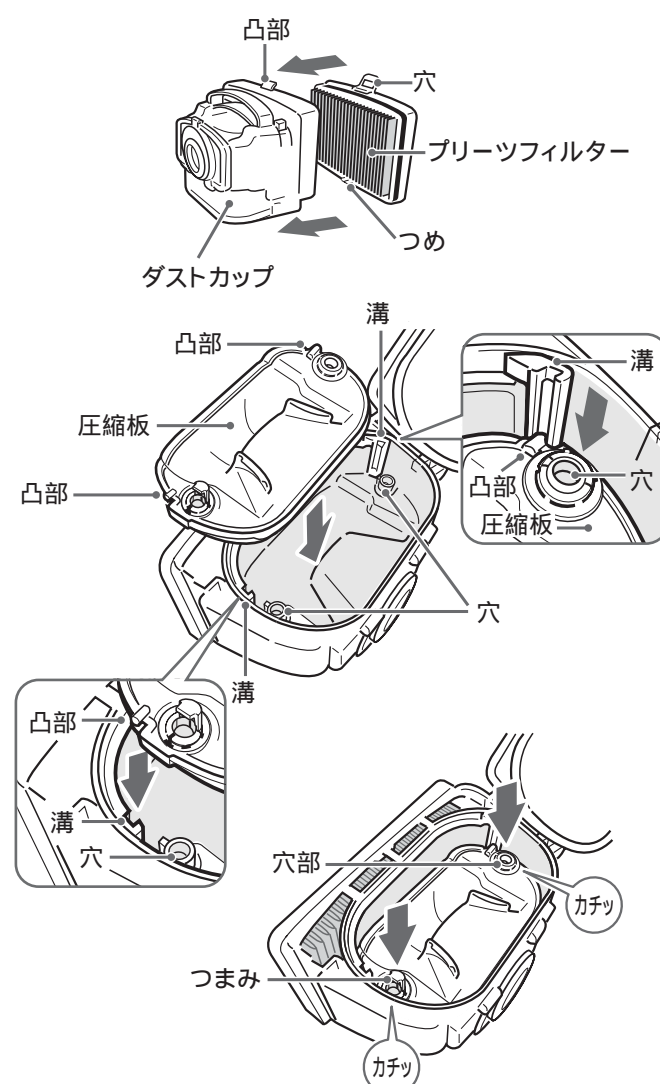
1 プリーツフィルターをはずし、水洗いする

①つまみをもち、フィルターをはずす
②水洗いをする

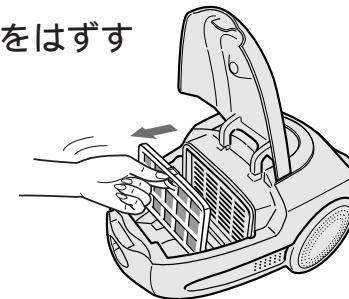
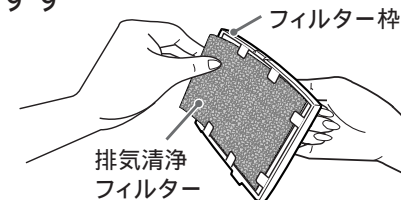
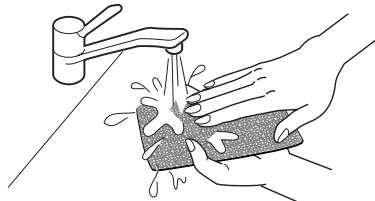
● プリーツフィルターを広げながら洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。

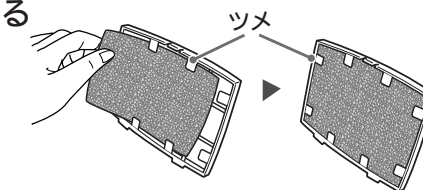
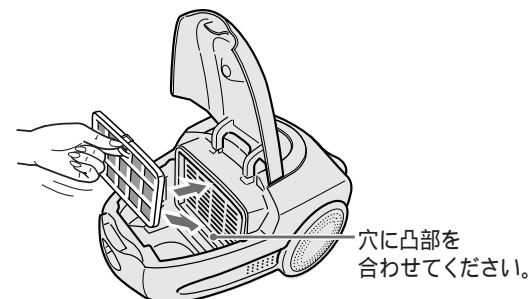
2 ダストカップ内の圧縮板をはずし、水洗いする

①ゴミすてボタンを押し、底面を開く
②圧縮板のつまみを持ち、上に引き上げてはずす
③ダストカップ、圧縮板を水洗いする

3 十分な乾燥を確認して、プリーツフィルター・圧縮板をセットする

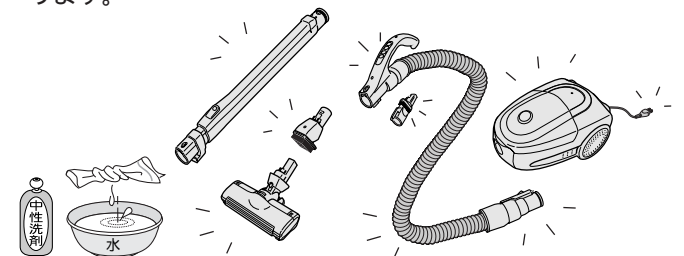
①プリーツフィルターのつめをダストカップに引っかける
②ダストカップの凸部につまみの穴をはめ込みセットする
③圧縮板の凸部をダストカップの溝に合わせる
④ダストカップの溝にそって、圧縮板を下におろす
⑤圧縮板のつまみ、穴部をそれぞれ上から押し、カチッと音がするまでしっかりはめ込む

お願い
● 吸込力を持続させるために、月に1度を目安にネットフィルター（リアー、フロント）とプリーツフィルターはお手入れしてください。（お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。）
● プリーツフィルターに付着したゴミが取れにくい場合は、古い歯ブラシ・綿棒などでお手入れしてください。
● フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
● 圧縮板を強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
● 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
● 水洗い後、プリーツフィルター・ネットフィルターにゴミが残ったまま乾燥しますと、臭いが発生することがあります。
● お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。

排気清浄フィルター

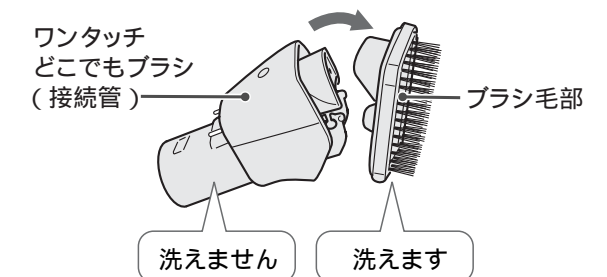
1 フィルター枠をはずす

2 フィルター枠から排気清浄フィルターをはずす

3 押し洗いをし、陰干しして十分に乾燥させる

お願い
● 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。

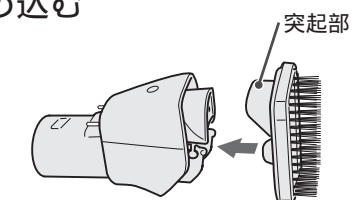
4 排気清浄フィルターをフィルター枠にはめる

5 フィルター枠を本体にはめ込む

本体・付属品

本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふく

● ベンジンなどでふくと、ひび割れ・変形・変色の原因になります。

ワンタッチどこでもブラシ

ブラシ毛部ははずして水洗いできます。

1 ワンタッチどこでもブラシ（接続管）を持ち、ブラシ毛部を前方へ軽くひねりながらはずす

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

3 ブラシ毛部の突起部がある方を上にして、接続管にかけてカチッと音がするまではめ込む

お願い ● 接続管は、水洗いしないでください。

（つづく）

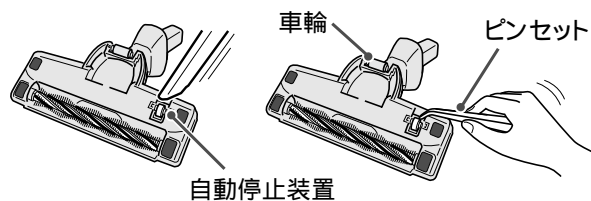
お手入れ(つづき)

床ブラシ

お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。
週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

1 ゴミを取りのぞく

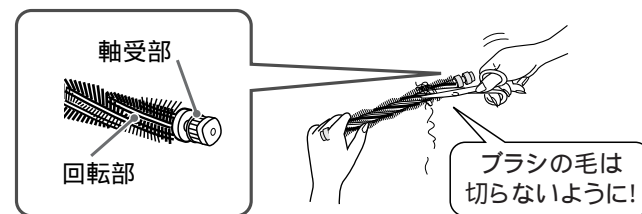
- **自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミを吸い取り、ピンセットで取りのぞいてください。**

お願い

- ゴミがたまったままお使いになると**車輪が回らず、床、たたみを傷つける**ことがあります。

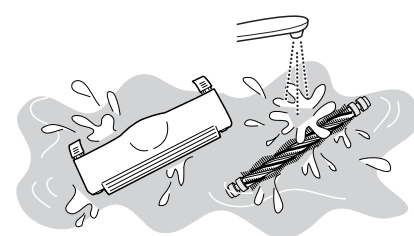
2 お手入れカバーをはずし、回転部を取り出す

①つまみを矢印の方向に動かす
②お手入れカバーを手前に動かす
③回転部をベルトからはずし取り出す

3 回転部にからみついたゴミを取りのぞく

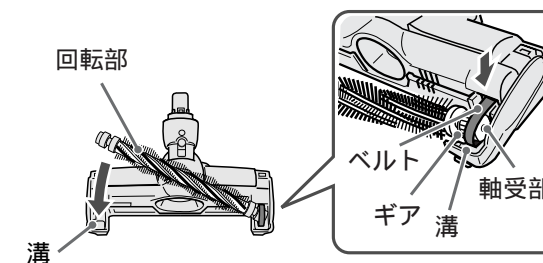
- **回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り取りのぞいてください。**

お願い

- 回転部の軸受部には注油しないでください。回転不良の原因になります。

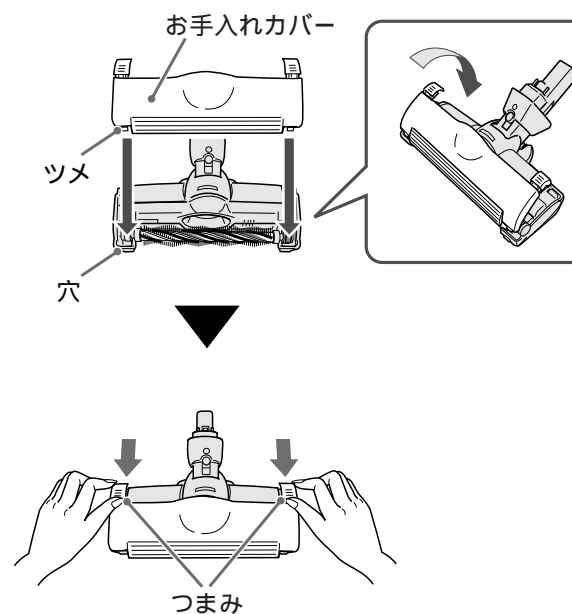
4 回転部、お手入れカバーを水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる

お願い

- 回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。
- 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
- 毛のかたいブラシで洗わないでください。
- 暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

5 十分な乾燥を確認して回転部を取り付ける

①回転部のギヤをベルトに入れる
②ケースの溝に軸受部を取り付ける

お願い

- 回転部のギヤは確実にベルトに取り付けてください。ギヤが入っていないと回転部は回りません。

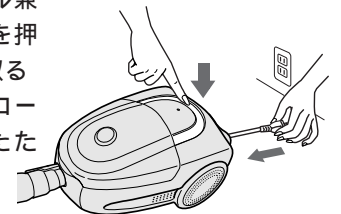
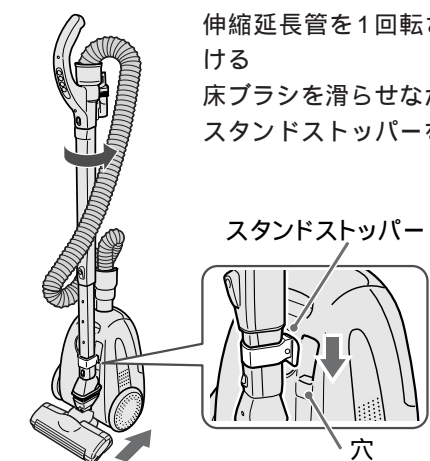
6 お手入れカバーを取り付ける

お願い

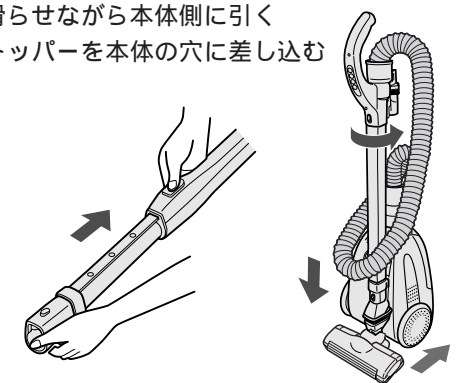
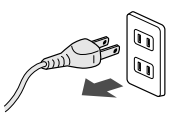
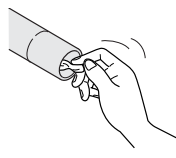
- お手入れカバーは、浮きがないようにつまみで確実にロックしてください。

お願い ●床ブラシ下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがありますので、お手入れの際に点検してください。摩耗しているときは、販売店にご相談ください。

お掃除終了後は

お掃除終了後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

①電源プラグを持ち、ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取る
②巻き取れない場合は、電源コードを1～2m引き出してふたたび巻き取る

①伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
②床ブラシを滑らせながら本体側に引く
③スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

ミニ収納　押し入れなど、高さの低い場所での収納に

①伸縮延長管を縮める
②伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
③床ブラシを滑らせながら本体側に引く
④スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

お願い

- スタンドストッパーがはずれることがありますので、収納状態で持ち運ばないでください。
- スタンドストッパーがはずれることがあり、標準付属品の床ブラシ取り付け時以外は、使用できません。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき	直しかた
●ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき **砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。** ●ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき ●すき間ノズルで連続運転使用したとき ●夏期など室温が35℃を超えるとき ●吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき ●ゴミサインが点滅したまま使用したとき	①手元スイッチの切を押し、電源プラグをコンセントから抜く ②ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取りのぞく ③涼しい場所におく 約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。

床ブラシの保護装置がはたらくとき

床ブラシのモーターの過熱を防ぐため、回転部（ブラシ）の回転が自動的に停止します。

このようなとき	直しかた
●回転部（ブラシ）を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押しつけたとき ●回転部（ブラシ）に異物を巻き込んだとき	手元スイッチの切を押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取りのぞきます。 12ページ 約10分後、保護装置が解除され、再び使用できます。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛、起毛布
ダストカップ	（財）日本食品分析センター	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
アレルゲットフィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS Z 2801	繊維に付着	不織布

このようなときは

⚠警告
改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に ●ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●ホースが本体に差し込まれていますか。 ●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。 ●床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。	→しっかり差し込んでください。 →本体の保護装置がはたらいています。 →本体の保護装置がはたらいています。	4 14 14
モーターの回転が変動する	●ゴミがいっぱいたまったままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらく場合があります。	→マイコンによる制御で異常ではありません。	5
吸込力が弱い	●ダストカップや上部のネットフィルターがゴミでいっぱいになっていませんか。 ●ダストカップ、プリーツフィルターの汚れがひどくありませんか。 ●フィルターお手入れサインが点滅していませんか。 ●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→ゴミを捨ててください。 →お手入れしてください。 →お手入れしてください。 →ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。	8~9 10~11 10~11 4
床ブラシの回転部が回転しない	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。 ●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。 ●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。 ●自動停止装置にゴミがついていませんか。 ●回転部のギヤがベルトに入ってますか。	→取りのぞいてください。床ブラシの保護装置がはたらいています。 →お手入れカバーを取り付け直してください。 →床ブラシの保護装置がはたらいています。 →取りのぞいてください。 →回転部を取り付け直してください。	12 13 14 12 13
電源コードが巻き取れない引き出せない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。 ●電源コードがからんでいませんか。	→1~2m引き出してふたたび巻き取ってください。 →ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2～3回くり返してください。	13 13

それでも異常のある場合は、16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
●ご使用中、本体及び電源コード、排気風が熱く感じられてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
●ゴミがたまってくると、吸込力を保つためにモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません。プリーツフィルター、ダストカップ、ネットフィルターをお手入れしてください。10 11ページ
●ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。
●電源プラグをコンセントに差し込むとき、火花が散る場合がありますが、故障ではありません。

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W ～約300W	337 mm	250 mm	188 mm	5.2kg（ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む）	590W～約90W	59dB ～約53dB	0.4L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率590W、運転音59dB